

# **各中学校区のまちづくりの方向性**

## 「各中学校区のまちづくりの方向性」の概要

### (1)「各中学校区のまちづくりの方向性」の趣旨

第五次総合計画では、市の施策全般をその体系に沿って取りまとめた従来の「体系別計画」の策定にあわせ、より地域の実情に沿ったまちづくりを進めるため、新たに「各中学校区のまちづくりの方向性」を示します。

総合計画の策定に向けては、市民協働・市民参画を基本とした取組みを進めるため、地域で活動する団体からの推薦による委員や公募による委員などで構成する「まちづくり市民会議」からまちづくりへの提言をいただきました。

「まちづくり市民会議」では、全市的なまちづくりの課題や取組みのほか、主に中学校区ごとに、現状と課題の再認識や、地域で取り組みたいこと、行政に期待することなどを中心に議論をいただきました。

この「各中学校区のまちづくりの方向性」は、こうした「まちづくり市民会議」での議論を踏まえつつ、地域主体によるまちづくりの方向性として、活かしていきたいところ、改善していきたいところと、第五次総合計画の関連施策などを取りまとめたものです。

もちろん、これらが地域の課題やまちづくりの取組みを網羅したものではありません。行政の施策についても、これらに限定されるものではありません。全市的に取り組む必要がある施策については、「体系別計画」に基づき、全市域を対象に取組みを進めます。

### (2)「各中学校区のまちづくりの方向性」の作成の流れ

「各中学校区のまちづくりの方向性」は、次の経過を経て作成しました。

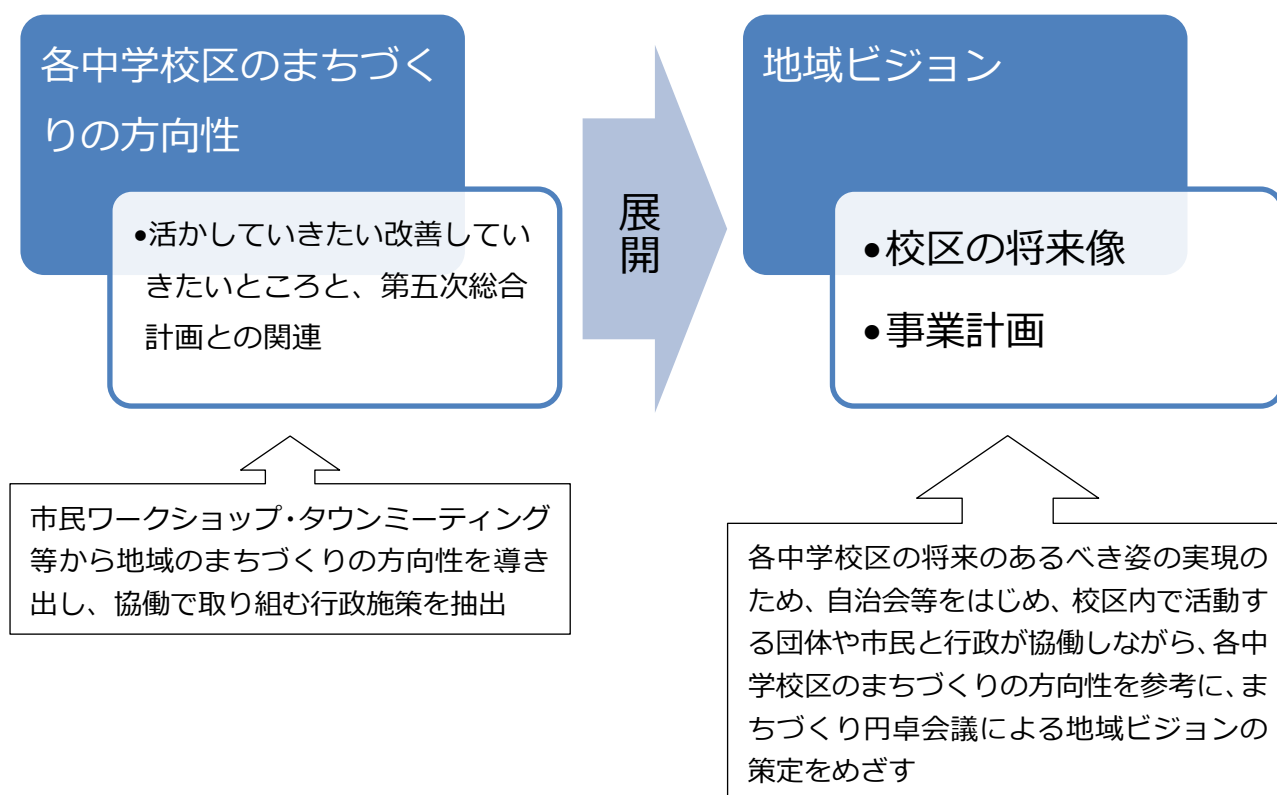


### (3)「各中学校区のまちづくりの方向性」の位置付けと今後の進め方

「各中学校区のまちづくりの方向性」は、基本構想・基本計画・実施計画からなる体系別計画とあわせて、地域主体によるまちづくりの方向性としてとりまとめたものです。

今後、市民、事業者、行政など、多様な主体が連携・協働して、個性ある魅力的なまちづくりを進めていくための指針（道しるべ）となるものです。

#### ◆各中学校区のまちづくりの方向性から地域ビジョンへの展開イメージ◆



◆大阪狭山市の中学校区◆



## (4) 各中学校区のまちづくりの方向性の構成

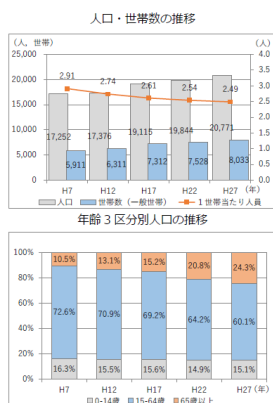
各中学校区のまちづくりの方向性は、中学校区ごとに以下のような構成とします。

### 狭山中学校区

#### ■地域の概要（令和3年1月末現在）

|              |                                                                                                                                      |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 人口           | 21,500人                                                                                                                              |
| 世帯数          | 9,262世帯                                                                                                                              |
| 地域面積         | 約402ha                                                                                                                               |
| 交通・地理的条件     | 狭山駅、大阪狭山市駅、金剛駅、(府道)河内長野美原線、(府道)森屋狭山線                                                                                                 |
| 地域の公共施設等(略称) | 市役所、消防本部、文化会館(SAYAKAホール)、狭山池博物館(府立)・郷土資料館、池尻体育館、子育て支援・世代間交流センター(U P っふ)、市民活動支援センター、男女共同参画推進センター(きらっとびあ)、地域包括支援センター、狭山水みらいセンター(府立)、斎場 |
|              | 車幼稚園、東野幼稚園、池尻保育園(私立)、きらり保育園(私立)、池尻な保育園(私立)、ルンビニ保育園(私立)、花梨つばさ保育園(私立)、東小学校、北小学校、狭山中学校                                                  |
|              | さやか公園、副池オアシス公園、西新町公園、市民ふれあいの里                                                                                                        |
|              | 狭山池、副池、狭山神社、狭山藩陣屋跡                                                                                                                   |

- 国勢調査による人口は、平成7年(1995年)以降増加を続け、平成27年(2015年)には2万人を超えました。少子化、高齢化が進んでいますが、他の中学校区に比べるとその傾向は緩やかです。
- 世帯数は増加していますが、一世帯当たり人員は減少を続けており、世帯の小規模化が進んでいます。



資料：国勢調査

6

地域の概要（人口、世帯数、地域面積等）を示します

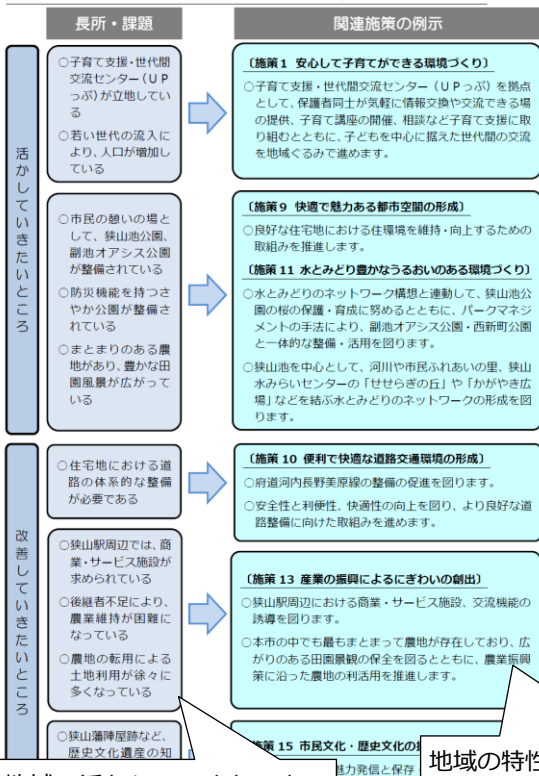


- 東野地区には、市街化調整区域において農地がまとまって存在し、広がりのある田園景観を形成しています。
- 本市のシンボルである狭山池や隣接する副池があり、公園として整備され、市民の憩いの場として活用されています。また、地域内にはそれ以外にも大小様々なため池が多くあります。

まちづくり市民会議の皆さんが検討した「中学校区の将来像」、「地域で取り組みたいこと」を紹介しています

119

#### ■活かしていきたいところ・改善していきたいところと、第五回総合計画の関連



地域の活かしていきたいところ、改善していきたいところを示します

地域の特性を踏まえ、基本計画に掲げる施策のうち、主に取り組んでいくことを示します

#### まちづくり市民会議

10年後の理想のまちのために、まちづくり市民会議のメンバーが自分たちで取組めそうなることを探りながら、次の取組みを考えていただきました。

#### まちづくり市民会議が考える 狭山中学校区の将来像

活気があり、安全・安心な、世代間交流がある住みたいまち！

#### 地域で取り組みたいこと

- 高野線3駅周辺を元気にしよう！
- 歩行者にやさしい安全なまちにしよう！
- 団体間・世代間の交流を活性化して地域の担い手をつくろう！

#### まちづくり市民会議の様子



121

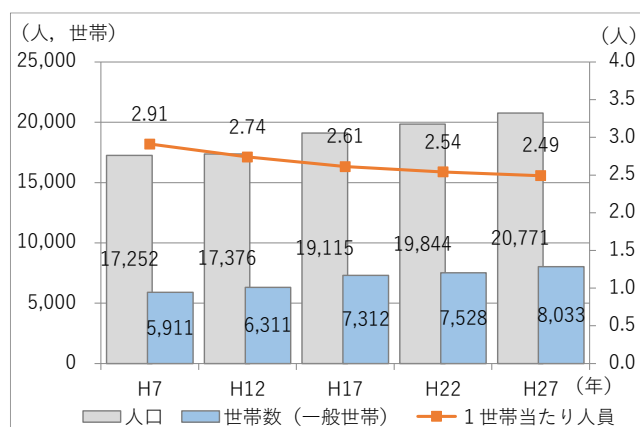
# 狭山中学校区

## ■地域の概要（令和3年1月末現在）

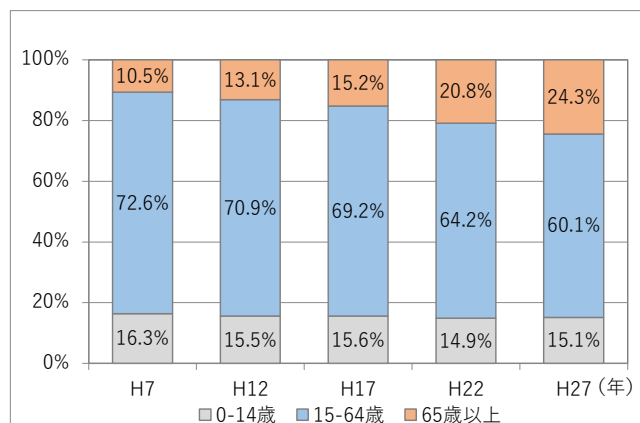
|              |                                                                                                                                     |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 人口           | 21,500 人                                                                                                                            |
| 世帯数          | 9,262 世帯                                                                                                                            |
| 地域面積         | 約 402ha                                                                                                                             |
| 交通・地理的条件     | 狭山駅、大阪狭山市駅、金剛駅、（府道）河内長野美原線、（府道）森屋狭山線                                                                                                |
| 地域の公共施設等（略称） | 市役所、消防本部、文化会館（SAYAKA ホール）、狭山池博物館（府立）・郷土資料館、池尻体育館、子育て支援・世代間交流センター（UPっぷ）、市民活動支援センター、男女共同参画推進センター（きらっとぴあ）、地域包括支援センター、狭山水みらいセンター（府立）、斎場 |
|              | 東幼稚園、東野幼稚園、池尻保育園（私立）、きらり保育園（私立）、池尻なな保育園（私立）、ルンビニ保育園（私立）、花梨つばさ保育園（私立）、東小学校、北小学校、狭山中学校                                                |
|              | さやか公園、副池オアシス公園、西新町公園、市民ふれあいの里                                                                                                       |
|              | 狭山池、副池、狭山神社、狭山藩陣屋跡                                                                                                                  |

- 国勢調査による人口は、平成7年（1995年）以降増加を続け、平成27年（2015年）には2万人を超えました。少子化、高齢化が進んでいますが、他の中学校区に比べるとその傾向は緩やかです。
- 世帯数は増加していますが、一世帯当たり人員は減少を続けており、世帯の小規模化が進んでいます。

人口・世帯数の推移



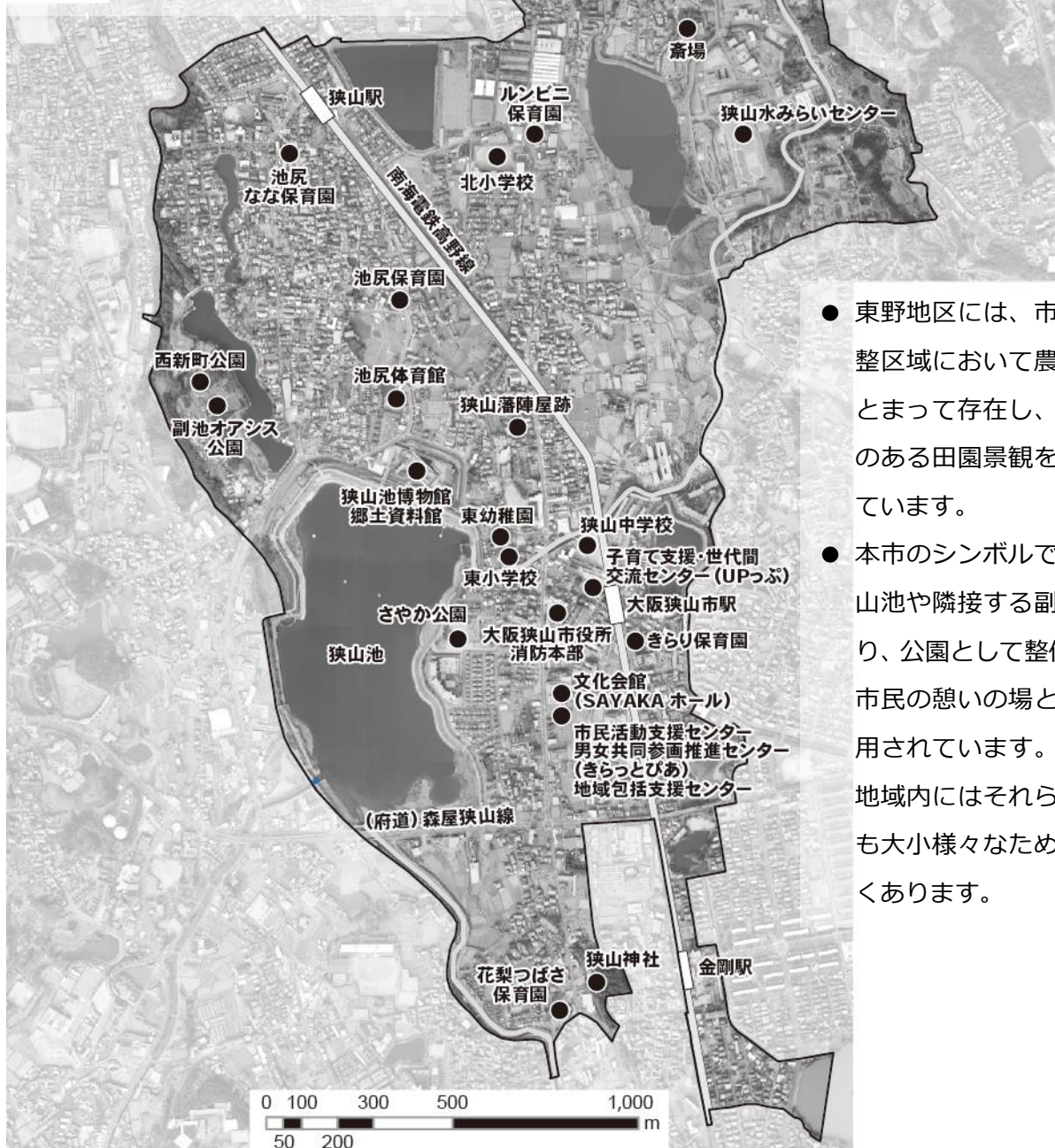
年齢3区分別人口の推移



資料：国勢調査

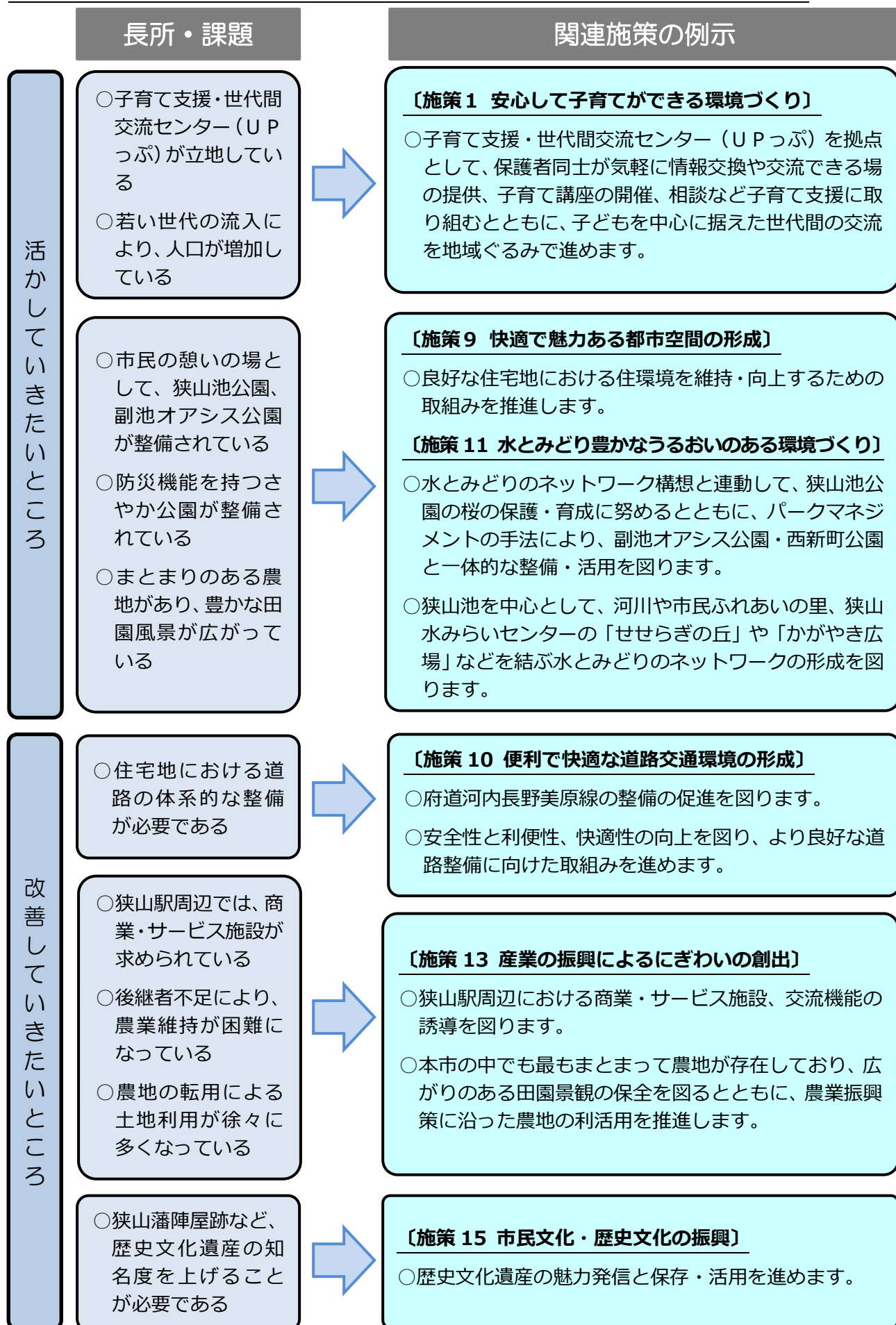


- 狭山駅周辺には、昭和 10 年代から開発された池尻自由丘や、近年工場跡地に開発された良好な住宅地と、必ずしも基盤整備が十分でない住宅地が混在する地区となっています。
- 大阪狭山市駅周辺は、スーパーマーケットや飲食店など、日用品の販売を中心とした店舗等が立地するとともに、市役所や文化会館など、行政・文化機能が集積する地区ともなっています。



- 東野地区には、市街化調整区域において農地がまわって存在し、広がりのある田園景観を形成しています。
- 本市のシンボルである狭山池や隣接する副池があり、公園として整備され、市民の憩いの場として活用されています。また、地域内にはそれら以外にも大小様々なため池が多くあります。

## ■活かしていきたいところ・改善していきたいところと、第五次総合計画の関連





## まちづくり市民会議

10年後の理想のまちのために、まちづくり市民会議のメンバーが自分たちで取り組みそうなことを探りながら、次の取組みを考えていただきました。

まちづくり市民会議が考える  
狭山中学校区の将来像

活気があり、安全・安心な、世代間交流がある住みたいまち！

### 地域で取り組みたいこと

- 高野線3駅周辺を元気にしよう！
- 歩行者にやさしい安全なまちにしよう！
- 団体間・世代間の交流を活発にして地域の担い手をつくろう！

まちづくり市民会議の様子



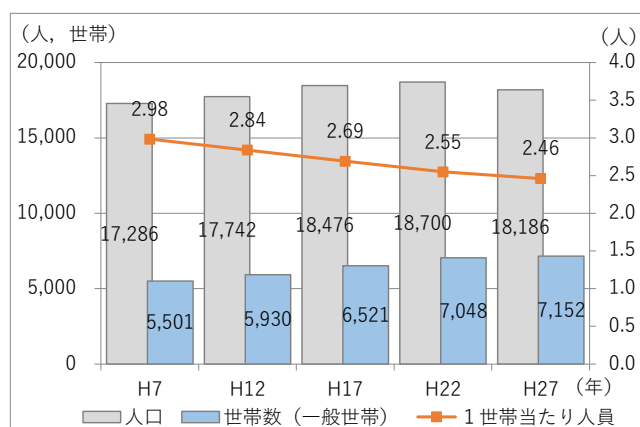
## 第三中学校区

### ■地域の概要（令和3年1月末現在）

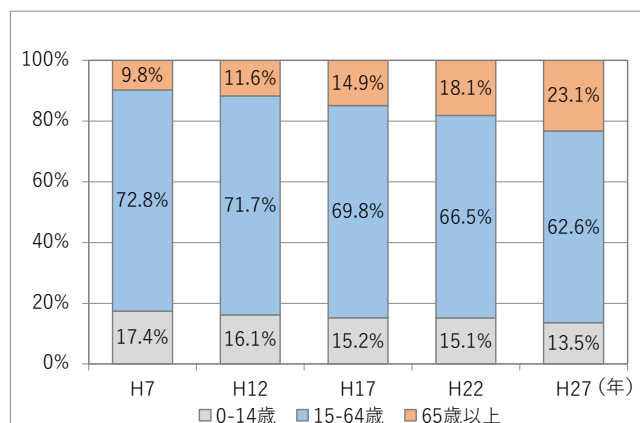
|              |                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 人口           | 18,281 人                                                                                                                                                                                                                           |
| 世帯数          | 8,082 世帯                                                                                                                                                                                                                           |
| 地域面積         | 約 452ha                                                                                                                                                                                                                            |
| 交通・地理的条件     | 金剛駅、国道 310 号、府道森屋狭山線、（都）金剛泉北線、（都）狭山河内長野線                                                                                                                                                                                           |
| 地域の公共施設等（略称） | 公民館、図書館、総合体育館、老人福祉センター（さやま荘）、心身障害者福祉センター及び母子・父子福祉センター（さつき荘）、保健センター、シルバー人材センター、社会教育センター<br>半田幼稚園、つぼみこども園（私立）、山本こども園（私立）、大谷さやまこども園（私立）、サニーサイド（私立）、西小学校、第七小学校、第三中学校、狭山高等学校（府立）<br>市民総合グラウンド、野球場、山本テニスコート、南青少年運動広場<br>三都神社、あまの街道、西高野街道 |

- 国勢調査による人口は、平成 7 年（1995 年）以降増加を続けていましたが、平成 27 年（2015 年）に減少に転じました。少子化、高齢化が進んでいますが、他の中学校区に比べると高齢化率は最も低くなっています。
- 世帯数は増加していますが、一世帯当たり人員は減少を続けており、世帯の小規模化が進んでいます。

人口・世帯数の推移



年齢3区分別人口の推移



資料：国勢調査



- (府)堺狭山線以北の山本・池之原地区等は市街化調整区域に指定されているとともに、体育館やグラウンドなどが整備され、「スポーツ・レクリエーション拠点」となっています。

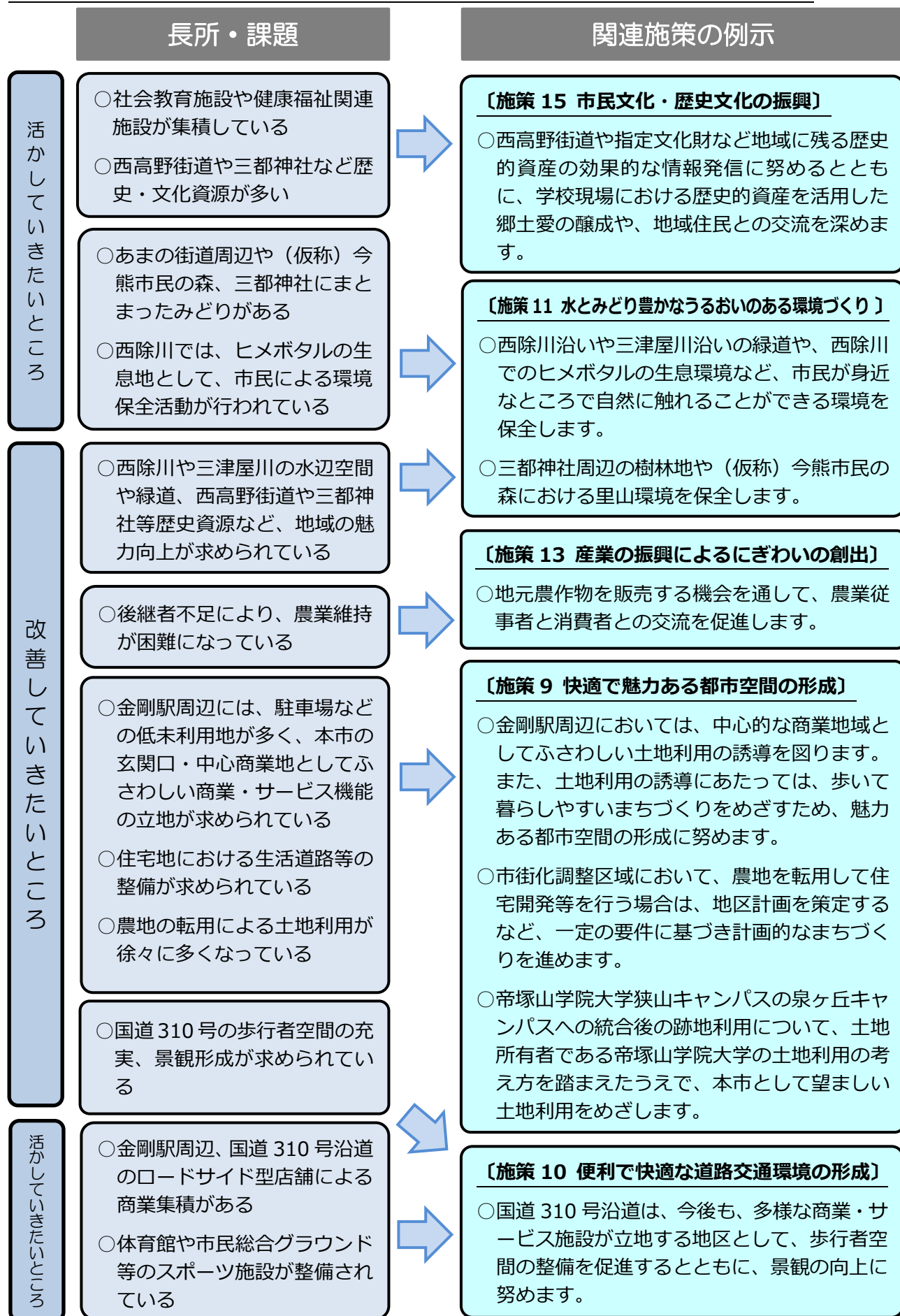
- (府)堺狭山線以南で国道 310 号以西には、福祉施設等が集積している「福祉・文化拠点」があります。また、あまの街道や西高野街道、三都神社など、歴史文化的な資源の多い地域となっています。



- 金剛駅が立地しており、本市の玄関口となっています。駅周辺は小規模な店舗等が立地しているものの、土地利用はあまり進んでいない状況です。また、近接して大規模商業施設が立地しています。
- 東茱萸木地区においては、大規模開発による住宅地が整備され、良好な住環境を形成しています。

- 西除川が狭山池に流れ込んでおり、地域住民が身近に触れることのできる水辺環境として親しまれ、ヒメボタルの生息地として市民による環境保全活動も行われています。

## ■活かしていきたいところ・改善していきたいところと、第五次総合計画の関連





## まちづくり市民会議

10年後の理想のまちのために、まちづくり市民会議のメンバーが自分たちで取り組みそうなことを探りながら、次の取組を考えていただきました。

まちづくり市民会議が考える  
第三中学校区の将来像

ほっこり校区！

### 地域で取り組みたいこと

- 歴史魅力 UP 再発見〈西高野街道〉
- 世代間交流〈子育てが軸〉
- 産直で交流〈都市・農村〉

まちづくり市民会議の様子





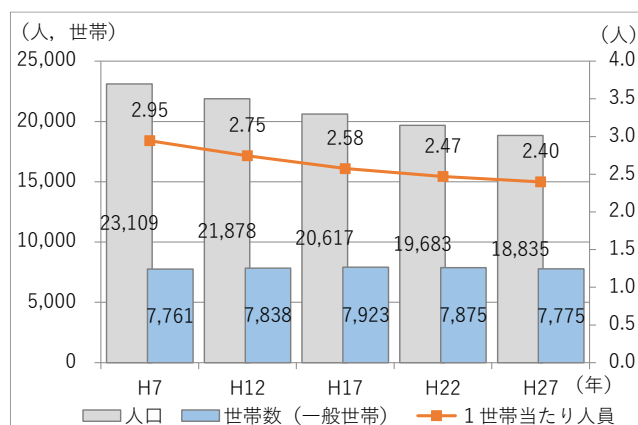
## 南中学校区

### ■ 地域の概要（令和 3 年 1 月末現在）

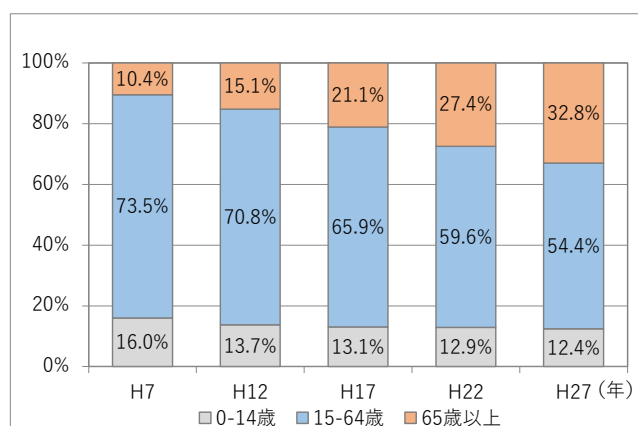
|                  |                                                                                                                                                       |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 人口               | 18,841 人                                                                                                                                              |
| 世帯数              | 8,633 世帯                                                                                                                                              |
| 地域面積             | 約 338ha                                                                                                                                               |
| 交通・地理的条件         | (都) 金剛泉北線、(都) 狭山河内長野線                                                                                                                                 |
| 地域の公共施設等<br>(略称) | ニュータウン連絡所、消防署ニュータウン出張所、コミュニティセンター、子育て支援センター（ぽっぽえん）、ふれあいスポーツ広場、西山霊園<br>こども園、大野台こども園（私立）、南第一小学校、南第二小学校、南第三小学校、南中学校<br>東大池公園、第三青少年運動広場、大野テニスコート<br>あまの街道 |

- 国勢調査による人口は、平成 7 年（1995 年）以降一貫して減少を続けており、平成 22 年（2010 年）には 2 万人を下回りました。少子化、高齢化が、他の中学校区に比べると最も進んでいます。
- 世帯数は、平成 22 年に減少に転じました。一世帯当たり人員は減少を続けており、世帯の小規模化が進んでいます。

人口・世帯数の推移



年齢 3 区分別人口の推移



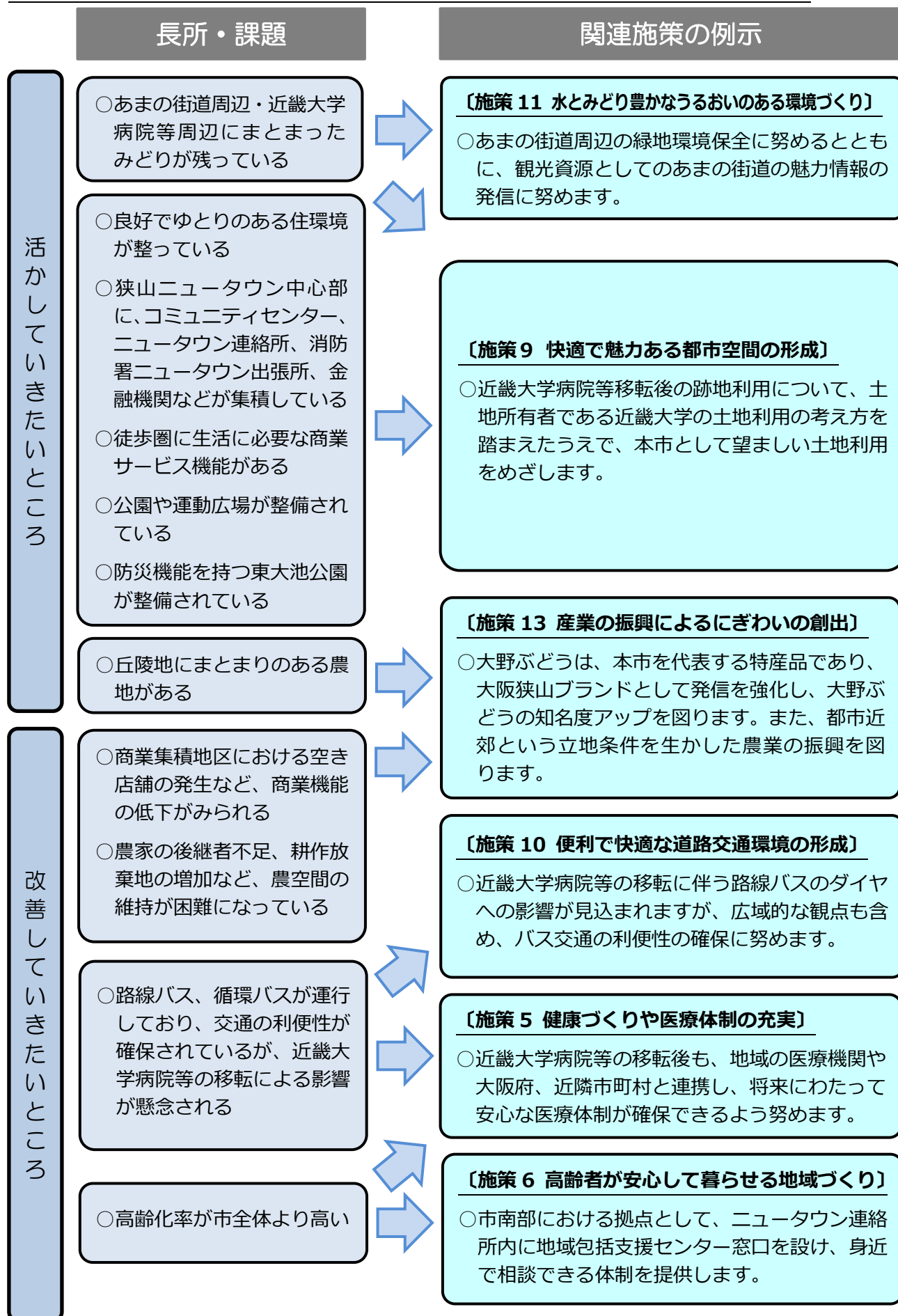
資料：国勢調査

- 狭山ニュータウン地区は、生活道路や公園などの都市基盤が計画的に整備されており、一定の敷地規模が確保された良好な低層住宅地と、府営やU R 都市機構の賃貸・分譲住宅等がある中高層住宅地とで構成されています。
- 狭山ニュータウン中央交差点付近には近隣商業地域に指定している区域があり、スーパーマーケット等の日用品販売を中心とした商業集積となっており、地域住民の日常生活の利便性を確保しています。
- 大野地区には、近畿大学病院が立地し、広域的に高度医療を提供する拠点となっており、その敷地内には樹林地が保全されています。また、近隣公園である東大池公園や第三青少年運動広場が整備されており市民のスポーツ・レクリエーション拠点となっています。
- 堺市との境界に沿って南北にあまの街道が通っており、周辺の緑地等も含めて緑の軸を形成しています。

- 泉北ニュータウン方面から狭山ニュータウンを抜け国道 310 号に至る道路である(都)金剛泉北線(陶器山通り)や、近畿大学病院から(府)堺狭山線に至る道路である(都)狭山河内長野線(いちよう通り)などが南部地域の骨格を形成しており、沿道には飲食店など小規模な店舗が立地し、地域の生活サービスを提供しています。



## ■活かしていきたいところ・改善していきたいところと、第五次総合計画の関連





## まちづくり市民会議

10年後の理想のまちのために、まちづくり市民会議のメンバーが自分たちで取り組みそうなことを探りながら、次の取組みを考えていただきました。

まちづくり市民会議が考える  
南中学校区の将来像

若い力を呼び込むまち！

### 地域で取り組みたいこと

- 花いっぱい！安心の住環境づくり
- 挨拶・声かけ！地域の仲間の交流づくり
- 自然の魅力！歩いて楽しいみちづくり

まちづくり市民会議の様子

